

夏休みを楽しく過ごす



海や山へと、子供たちにとっては楽しい夏休み。成長期の子供たちにとって、多くの貴重な体験が得られるときです。しかし一方、非行の芽が育つのもこの時期で、夏休みの過ごし方次第で、大きく変わるようです。

約束した

時間は守ろう

夏休みに入ると、朝寝坊や夜ふかしなど、生活のリズムが乱れがち。学校から解放された安心感から、時間のケジメを忘れ、遊びに行っても帰宅が遅れたりすることが多くなります。門限を決め、きちんと守るようにしましょう。

もし、子供たちが約束の時間に遅れて帰ったら、お母さんは感情的に怒らないように。普通の子なら、「まずかった」という気持ちでいっばいです。そんなときは、

夏休みは、子供たちにとって楽しい期間です。その反面、気分が解放的になり、それが服装や行動に表われます。

補導センターから

最近、深夜徘徊(はいかい)が目立ってきました。これは、オートバイ盗や自転車盗、シンナー等の薬物乱用、家出・無断外泊、不純異性交遊などの非行に直結するものです。

特に、女子非行が増加しており、転落の早きは予想以上で、犯罪に巻き込まれることも現実的に表面化しています。

非行も病気と同じく、早期発見、早期指導が健全な少年に戻す最良の方策です。

また、最近は親、特に母親の態度が変わってきています。深夜徘徊中を補導し、帰宅させた後に家庭へ連絡すると「うちの子供は、その時間帯は家に居ました。補導されるわけがありません」と、最後まで言い通します。これでは本当の母親の愛情とはいえません。

目標を決め 計画的に行動

夏休みは、子供たちの自主性、計画性を養うよい機会です。休み期間中は、無理のない計画表を作って、一つ一つきちんと実行させましょう。



「〇日泳げるように」「不得意科目をなくそう」など、具体的な目標を決め、子供たちが最後まで

やり遂げるよう、親もいっしょに応援してあげましょう。

また、キャンプや登山など、積極的に野外活動に参加させましょう。美しい自然の中での貴重な体験は、子供たちに豊かな心を育ててくれます。

小遣いを

上手にやろう

夏休みには、海や山、お祭りなど、子供たちどうして外へ遊びに行くことが増え、お金を使う機会が多くなります。無駄使いの習慣が、身につかないように気をつけましょう。

をつけてください。

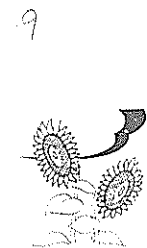
親子の対話を

深めよう

家族で旅行を計画するなど、夏休みは親子がいっしょにいることが多くなります。

日ごろ、ゆつくりと子供と話すことの少ない親にとっては、子供たちと対話するよい機会です。遊びや労働を通して、親子の心の交流を深めるようにしましょう。今まで気づかなかつた、子供の生き生きとした姿に気づくかも知れません。

小学生の高学年から中学生へ



「友達だろ」と言われ、悪いこととは知りながら、つい行動を共にして非行に加わってしまう例が多くなります。

子供たちに「悪いことを許し合

交通事故に 気をつけて

子供に対する交通安全のしつけは、画一的ではなく、心身の発達に応じた方法で行うのが理想的です。そのためには、子供のことをよく知っておく必要があります。

▼考えや行動が一方的 道路を渡ろうとして自動車の通過を待っているときでも、向こう側に母親の姿を見つけたら、一目散に駆け出したりします。

▼物事を単純にしか理解できない 子供に対する交通安全のしつけは、画一的ではなく、心身の発達に応じた方法で行うのが理想的です。そのためには、子供のことをよく知っておく必要があります。

▼考えや行動が一方的 道路を渡ろうとして自動車の通過を待っているときでも、向こう側に母親の姿を見つけたら、一目散に駆け出したりします。

自分の目の前の信号が青になれば、自動車は必ず止まるものと思いがちな傾向があります。青信号になったからといって自動車の止まるのを確認しないまま走り出すと危険です。

▼気分が変わりやすい うれしいことがあって気持ちがうきうきしたり、しかられて泣き出したようなとき、そのことで頭がいっぱいになり、周囲のことに注意が行き届かなくなります。

▼応用動作がきかない いつも通る道路では交通ルールを守り、初めての道路では応用がきくとは限りません。夏休み中の事故は、レジャー地や帰省先での発生が多いのもそのためです。

夏休みは、ふだんに比べると家の外で遊ぶ時間が長くなります。家庭で交通ルールやマナーについて、話し合いをしましょう。

夏休みに 思う...

子供たちにとって、楽しい夏休みが始まった。

小学2年生の長男が友達をわが家へ連れて来る。「おじちゃん、おじゃまします」朝九時ごろである。そして、すぐ「僕、10時には帰らんといかん。お母さんにしかられるから」と言う。遊びは約一時間、勉強があるのだろう。

そして、しきりに私の顔をうかがいながら、何をするのに一つ一つ私の理解を得、機嫌を損なわないように気を配っている様子分かる。更にめんくらったのは、言葉である。子どもの会話ではなく、大人の会話である。何かおどおどしている。良く言えば、厳しいしつけをされていると思われるし、悪く言えば、創造性、情操等子供本来の姿を取り上げているように思う。

子供は好奇心が強く、なんでも見よう、聞こう、触るといった行動があって成長し、それをコントロールするのが大人であると思っていた私は驚いた。

夏は海、山の季節。大自然の中で体を鍛え、考え、厳しい暑さを乗り切って、心豊かな人間に育ててほしい。そのための夏休みだと思ふ。

最近、子供たちを取り巻く環境は、悪化の傾向にある。大自然によって鍛えられた子供は、それに打ち勝っていきけるような気がする。

今年の夏は、自由に伸び伸びと自然に親しむことができるようにしてやりたい。

事故のないよう楽しく過ごしてほしいと願っている。

～ある父親から～